

(様式1)

令和6年度試験研究課題設定のための要試験研究問題提案・回答書

(整理番号) 020	提案機関名 (一社) 神奈川県園芸協会
要望問題名 リンゴの炭疽病の対策について	
要望問題の内容 【 背景、内容、対象地域及び規模(面積、数量等) 】 炭疽病は輪紋病と並んでリンゴの果実を腐敗させる重要な病害である。例年多発する傾向にあり、防除の重要性が再認識されている。 今までの防除体系では、炭疽病が防げなくなってきているので、新たな防除体系確立のための試験をお願いしたい。	
解決希望年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内
対応を希望する研究機関名	①農業技術センター ②畜産技術センター ③水産技術センター ④自然環境保全センター
備考	

回答機関名	農業技術センター	担当部所	生産環境部
対応区分	①実施 ②実施中 ③継続検討 ④実施済 ⑤調査指導対応 ⑥現地対応 ⑦実施不可		
試験研究課題名 (①、②、④の場合)			
対応の内容等 リンゴ炭疽病の重点防除時期は、東京都では6月中旬～7月中旬、長野県では6月中旬～8月上旬とされていますが、神奈川県果樹振興研究会作成の防除暦には、6月中旬～8月上旬の間、7月中旬を除いて10日間隔でリンゴ炭疽病に登録のある薬剤が既に記載されています。またリンゴ炭疽病の多発には、防除体系だけでなく、薬剤散布方法・散布量、剪定等の樹体管理方法、植栽品種、周辺の伝染源植物の有無等が関係すると考えられます。 リンゴ炭疽病が多発しているほ場があった場合には、普及指導部署で多発要因を調査します。			
解決予定年限	①1年以内 ②2～3年以内 ③4～5年以内 ④5～10年以内		
備考			